

平成 25 年度第 1 回交流セミナー 概要報告

■日時：平成 25 年 8 月 9 日（金） 15：00～16：30

■場所：一般財団法人ベターリビング 7B・7C 会議室

■プログラム：クールスポットのまちづくり ～脱ヒートアイランド都市を目指して～

■講師：東京工業大学名誉教授 放送大学教授 梅干野 晃氏

■参加者数：26 名

■主な内容：

- ・近年では、地方の小都市においてもヒートアイランド現象が顕在化してきているが、大事なのは、クールスポットをつくるためのしかけを作るのではなく、建物や地面構成されている外部空間の中にクールスポットをつくる、という発想である。
- ・ヒートアイランドでは気温ではなく表面温度が先に決まり、その表面温度にしたがって気温が決まる。都市の中の生活空間にクールスポットをつくる場合、その表面温度を 6～7℃下げることが工夫次第で可能である。
- ・日射遮蔽、打ち水、大気冷却やクールチューブなど様々な工夫については、原理原則を理解した上でまちづくりや住まいづくりの中でデザインとして提案していくことが、今後の建築家には求められていく。
- ・屋上緑化はその地域の気候風土や文化を受け継いでおり、日常生活と結びついた緑化が望ましい。その方法として、建物の上階のセットバック、アプローチ空間としての屋根の捉え方、駅前広場での人工地盤上の緑化などが考えられる。



セミナーの様子



熱画像によるヒートアイランドの状況



建物の上階のセットバックによるクールスポットの創出



シミュレーションによる様々な街区のヒートアイランドの予測・評価